

船舶事故調査報告書

令和2年2月26日
運輸安全委員会（海事専門部会）議決

事故種類	衝突
発生日時	平成31年3月6日 12時00分ごろ（現地時間）
発生場所	カーボベルデ共和国ミンデロ港内 （概位 北緯16°53.0′ 西経025°00.0′）
事故の概要	漁船第五 ^{だいご} 大吉丸は、着岸中の漁船第二十八 ^{ちよ} 千代丸に横付け作業中、第二十八千代丸に衝突した。
事故調査の経過	令和元年11月1日、主管調査官（神戸事務所）を指名 原因関係者から意見聴取実施済
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等	A 漁船 第五大吉丸、439トン MG1-1955（漁船登録番号）、株式会社丸要漁業部 B 漁船 第二十八千代丸、409トン MG1-1923（漁船登録番号）、山代水産株式会社
乗組員等に関する情報	A 船長A、三級海技士（航海） B 船長B、四級海技士（航海）
負傷者	なし
損傷	A なし B 左舷船首部ハンドレールに折損
気象・海象	気象：天気 晴れ、風向 北東、風力 7、視界 良好 海象：波高 約0.3m
事故の経過	A船は、船長Aほか23人（日本国籍5人、インドネシア共和国籍18人）が乗り組み、右舷出船で着岸しているB船の左舷側に右舷横付けする目的で左回頭をしながら接近したところ、船尾方から北東風を受けることとなり、B船の方に圧流されたので後進としたものの、右舷船首部がB船に衝突した。 船長Aは、風による圧流を考慮してふだんよりも速力を増していたので、後進力による制御が困難であったと本事故後に思った。 B船は、船長Bほか24人（日本国籍6人、インドネシア共和国籍18人）が乗り組み、船首を南方に向けて着岸中、左舷船首部にA船が衝突した。
分析	A船は、B船の左舷側に右舷横付け作業中、船長Aが、船首に受ける強風による圧流を考慮してふだんよりも速力を増し、船尾方から強風を受けるようになった左回頭後も速力が過大となっていたことから、B船と衝突したものと考えられる。 B船は、着岸中、左舷船首部にA船が衝突したものと考えられる。
原因	本事故は、A船がB船の左舷側に右舷横付け作業中、船長Aが、船首に受ける強風による圧流を考慮してふだんよりも速力を増し、船尾

	方から強風を受けるようになった左回頭後も速力が過大となっていたため、B船と衝突したものと考えられる。
再発防止策	今後の同種事故等の再発防止に役立つ事項として、次のことが考えられる。 <ul style="list-style-type: none">・ 操船者は、他船に横付けする場合、安全な距離を保てる速力で接近すること。